

2009 年度春学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	教育文化	学科
担当科目	ファーストイヤーセミナー		

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

<主な仕事内容（宮坂クラス）>

- ・ 出席表の配布、回収ならびに出席管理
- ・ 資料の配布、作成
- ・ 発表やディスカッションでのコメントやアドバイス
- ・ 合宿での雑務

また、以上の仕事をするためにクラスの学生に出された課題に目も通しましたが、春先はこの作業にとっても時間をとられました。自分にとっても良い勉強にはなりましたが、シラバスと違うこともあったので最初は戸惑いました。さらにクラスが馴染んできたときに、自分の4年間の学科での過ごし方についてちょっとしたスピーチをしました。1回生にとっては少ない人数の学科の先輩に会う機会は少ないらしく、終わった後にたくさんの質問を受けました。ただ、これはたまたま私のクラスだけやったようでした。

<気づいたこと・感想>

- ・ シラバスとの相違があった
- ・ 課題が多かった（早めに教えて欲しかった）
- ・ 仕事が不明瞭だった
- ・ 1回生、先生との距離感がよかった
- ・ 自分にとっても振り返りの勉強ができてよかった

全体として感じたことは、先生方がチューター制度についてあまり理解していらっしゃらなかったもので、どういった仕事をすればいいかわからなかったです。また、シラバスと相違が多く、チューターとしてクラスに入るまでには知らなかった課題（1回生各個人への課題にコメントするため、それぞれの文献に目を通すこと）があったので、事前に掲示やメールで知らせていただければやりやすかったと思います。ただ、立ち位置としては先生・院生と1回生の中間なので、そんなに緊張しないでできました。課題への不安や授業の情報など、先生に聞きにくいことを私に話してくれた人も多かったので、1回生にとって、学部の先輩がいるのは有益なのではないかと思いました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

<今後のチューターへ>

少人数の授業なので、ただの資料配布だけで終わらないのでとても楽しいと思います。自分の勉強にもなりますし、単位がある程度取れていたら知ってる内容がほとんどなので、難しいことはないです。楽しんでやってください。

<先生へ>

授業計画はチューター募集の時など、早めに教えていただけると自分の予定も立てやすいのでとても助かります。